

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和1年10月10日(2019.10.10)

【公開番号】特開2019-131609(P2019-131609A)

【公開日】令和1年8月8日(2019.8.8)

【年通号数】公開・登録公報2019-032

【出願番号】特願2019-77828(P2019-77828)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/519	(2006.01)
A 6 1 K	31/527	(2006.01)
A 6 1 K	31/5377	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	47/68	(2017.01)
A 6 1 K	51/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	15/00	(2006.01)
A 6 1 P	1/00	(2006.01)
A 6 1 P	11/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	31/519	
A 6 1 K	31/527	
A 6 1 K	31/5377	
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	47/68	
A 6 1 K	51/00	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	15/00	
A 6 1 P	1/00	
A 6 1 P	11/00	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 K	39/395	L

【手続補正書】

【提出日】令和1年8月27日(2019.8.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

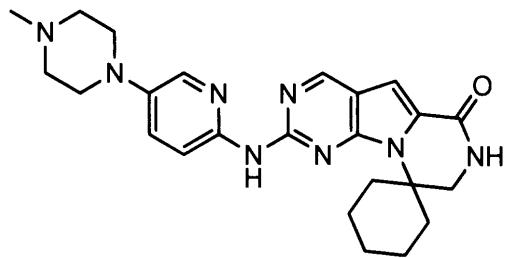
ヒトにおける癌の治療のための医薬組成物であって、

前記癌が、網膜芽細胞腫(Rb)タンパク質ポジティブであり、かつ、乳癌、結腸癌、卵巣癌、非小細胞性肺癌、前立腺癌及びグリア芽細胞腫からなる群より選択され、

前記医薬組成物が、有効量の化合物を含み、

前記化合物が、

【化1】



又はその薬理学的に許容される塩である、前記医薬組成物。

【請求項2】

前記癌が乳癌である、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項3】

前記癌が結腸癌である、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項4】

前記癌が卵巣癌である、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項5】

前記癌が非小細胞性肺癌である、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項6】

前記癌がグリア芽細胞腫である、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項7】

前記癌が前立腺癌である、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項8】

前記化合物が他の化学療法剤と組み合わせて投与される、請求項1に記載の医薬組成物

。

【請求項9】

前記化学療法剤がmTOR阻害剤である、請求項8に記載の医薬組成物。

【請求項10】

前記化学療法剤がPI3キナーゼ阻害剤である、請求項8に記載の医薬組成物。

【請求項11】

前記化学療法剤がデュアルmTOR-PI3K阻害剤である、請求項8に記載の医薬組成物。

【請求項12】

前記化学療法剤がMEK阻害剤である、請求項8に記載の医薬組成物。

【請求項13】

前記化学療法剤がRAS阻害剤である、請求項8に記載の医薬組成物。

【請求項14】

前記化学療法剤がALK阻害剤である、請求項8に記載の医薬組成物。

【請求項15】

前記化学療法剤がHSP阻害剤である、請求項8に記載の医薬組成物。

【請求項16】

前記化学療法剤がレトロゾールである、請求項8に記載の医薬組成物。

【請求項17】

前記化学療法剤がカペシタビンである、請求項8に記載の医薬組成物。

【請求項18】

前記化学療法剤がタモキシフェンである、請求項8に記載の医薬組成物。

【請求項19】

前記化学療法剤がピクチリシブである、請求項8に記載の医薬組成物。

【請求項20】

前記化学療法剤がブパルリシブである、請求項8に記載の医薬組成物。

【請求項 2 1】

前記化学療法剤がエベロリムスである、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 2 2】

前記化学療法剤がゴセレリンである、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 2 3】

前記化学療法剤がアナストロゾールである、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 2 4】

前記化学療法剤がドキソルビシンである、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 2 5】

前記化学療法剤がパクリタキセルである、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 2 6】

前記化学療法剤がプレドニソンである、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 2 7】

前記化学療法剤がドセタキセルである、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 2 8】

前記化学療法剤がミトキサントロンである、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 2 9】

前記化学療法剤がビカルタミドである、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 3 0】

前記化学療法剤がフルタミドである、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 3 1】

前記化学療法剤がニルタミドである、請求項 8 に記載の医薬組成物。

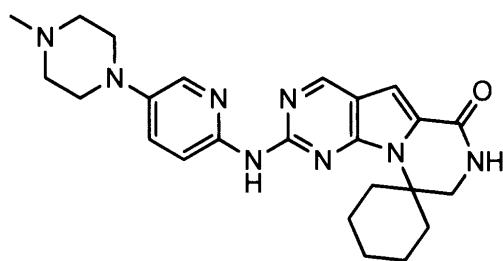
【請求項 3 2】

ヒトにおける網膜芽細胞腫 (Rb) タンパク質ポジティブ 乳癌の治療のための医薬組成物であって、

前記医薬組成物が、有効量の化合物を含み、

前記化合物が、

【化 2】



又はその薬理学的に許容される塩である、前記医薬組成物。

【請求項 3 3】

前記化合物が化学療法剤と組み合わせて投与される、請求項 3 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 3 4】

前記化学療法剤がmTOR阻害剤である、請求項 3 3 に記載の医薬組成物。

【請求項 3 5】

前記化学療法剤がPI3キナーゼ阻害剤である、請求項 3 3 に記載の医薬組成物。

【請求項 3 6】

前記化学療法剤がデュアルmTOR - PI3K阻害剤である、請求項 3 3 に記載の医薬組成物。

【請求項 3 7】

前記化学療法剤がMEK阻害剤である、請求項 3 3 に記載の医薬組成物。

【請求項 3 8】

前記化学療法剤がRAS阻害剤である、請求項 3 3 に記載の医薬組成物。

【請求項 3 9】

前記化学療法剤がA L K阻害剤である、請求項3 3に記載の医薬組成物。

【請求項 4 0】

前記化学療法剤がH S P阻害剤である、請求項3 3に記載の医薬組成物。

【請求項 4 1】

前記化学療法剤がレトロゾールである、請求項3 3に記載の医薬組成物。

【請求項 4 2】

前記化学療法剤がカペシタビンである、請求項3 3に記載の医薬組成物。

【請求項 4 3】

前記化学療法剤がタモキシフェンである、請求項3 3に記載の医薬組成物。

【請求項 4 4】

前記化学療法剤がピクチリシブである、請求項3 3に記載の医薬組成物。

【請求項 4 5】

前記化学療法剤がブパルリシブである、請求項3 3に記載の医薬組成物。

【請求項 4 6】

前記化学療法剤がエベロリムスである、請求項3 3に記載の医薬組成物。

【請求項 4 7】

前記化学療法剤がゴセレリンである、請求項3 3に記載の医薬組成物。

【請求項 4 8】

前記化学療法剤がアナストロゾールである、請求項3 3に記載の医薬組成物。

【請求項 4 9】

前記化学療法剤がドキソルビシンである、請求項3 3に記載の医薬組成物。

【請求項 5 0】

前記化学療法剤がパクリタキセルである、請求項3 3に記載の医薬組成物。

【請求項 5 1】

前記化学療法剤がヒト上皮生長因子レセプタ2（H E R - 2）をターゲットにするモノクローナル抗体である、請求項3 3に記載の医薬組成物。

【請求項 5 2】

前記モノクローナル抗体がトラスツズマブである、請求項5 1に記載の医薬組成物。

【請求項 5 3】

前記モノクローナル抗体が化学療法剤に結合されている、請求項5 1に記載の医薬組成物。

【請求項 5 4】

前記結合されたモノクローナル抗体がアドトラスツズマブエムタンシンである、請求項5 3に記載の医薬組成物。

【請求項 5 5】

前記乳癌がエストロゲン受容体ポジティブである、請求項3 3に記載の医薬組成物。

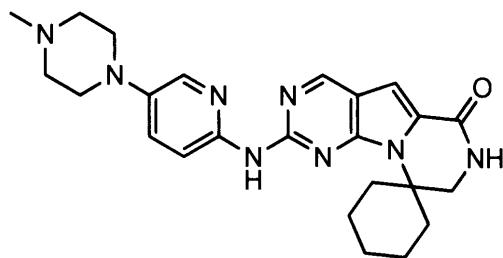
【請求項 5 6】

ヒトにおける網膜芽細胞腫（R b）タンパク質ポジティブ前立腺癌の治療のための医薬組成物であって、

前記医薬組成物が、有効量の化合物を含み、

前記化合物が、

【化3】



又はその薬理学的に許容される塩である、前記医薬組成物。

【請求項57】

前記化合物が化学療法剤と組み合わせて投与される、請求項56に記載の医薬組成物。

【請求項58】

前記化学療法剤がプレドニゾンである、請求項57に記載の医薬組成物。

【請求項59】

前記化学療法剤がドセタキセルである、請求項57に記載の医薬組成物。

【請求項60】

前記化学療法剤がミトキサントロンである、請求項57に記載の医薬組成物。

【請求項61】

前記化学療法剤がビカルタミドである、請求項57に記載の医薬組成物。

【請求項62】

前記化学療法剤がフルタミドである、請求項57に記載の医薬組成物。

【請求項63】

前記化学療法剤がニルタミドである、請求項57に記載の医薬組成物。

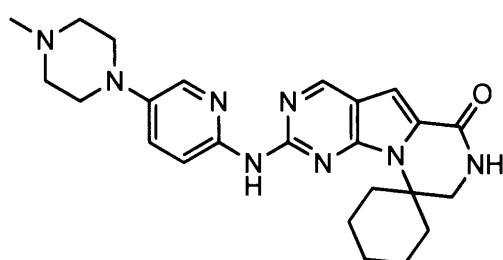
【請求項64】

ヒトにおける網膜芽細胞腫(Rb)タンパク質ポジティブ乳癌の治療のための医薬組成物であって、

前記医薬組成物が、有効量の化合物を含み、

前記化合物が、

【化4】



又はその薬理学的に許容される塩であり、

前記医薬組成物が、連続する28日以上の間、1日に少なくとも1回、前記ヒトに投与される、前記医薬組成物。

【請求項65】

前記医薬組成物が少なくとも1種の他の化学療法剤と組み合わせて投与される、請求項64に記載の医薬組成物。

【請求項66】

前記乳癌が、エストロゲン受容体ポジティブである、請求項64に記載の医薬組成物。

【請求項67】

前記医薬組成物が、連続する35日以上の間、1日に少なくとも1回、投与される、請求項64に記載の医薬組成物。

【請求項68】

前記他の化学療法剤が、タモキシフェン、レトロゾール、アナストロゾール、トレミフェン、及びトラスツズマブから選択される、請求項 6 5 に記載の医薬組成物。

【請求項 6 9】

前記他の化学療法剤がタモキシフェンである、請求項 6 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 7 0】

前記他の化学療法剤がレトロゾールである、請求項 6 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 7 1】

前記他の化学療法剤がアナストロゾールである、請求項 6 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 7 2】

前記他の化学療法剤がトレミフェンである、請求項 6 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 7 3】

前記他の化学療法剤がトラスツズマブである、請求項 6 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 7 4】

前記医薬組成物が、1日に1回、投与される、請求項 6 4 に記載の医薬組成物。

【請求項 7 5】

前記 R b ポジティブ乳癌が、エストロゲン受容体ポジティブであって H E R 2 ネガティブである進行型乳癌である、請求項 6 4 に記載の医薬組成物。

【請求項 7 6】

前記 R b ポジティブ乳癌が、H E R 2 ポジティブ乳癌である、請求項 6 4 に記載の医薬組成物。